

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 27 年 8 月 6 日 (2015.8.6)

【公開番号】特開 2014-209150 (P2014-209150A)  
 【公開日】平成 26 年 11 月 6 日 (2014.11.6)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-061  
 【出願番号】特願 2013-85996 (P2013-85996)  
 【国際特許分類】

G 0 9 B 29/00 (2006.01)

G 0 1 C 21/26 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 B 29/00 Z

G 0 1 C 21/00 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 27 年 6 月 17 日 (2015.6.17)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

道路データが少なくとも含まれた更新対象データの第 1 のバージョン ( 3 1 A ) と、更新対象外データの第 1 のバージョン ( 3 2 A ) とからなる地図データ ( 3 0 A ) を記憶しており、前記第 1 のバージョンの更新対象データと前記第 1 のバージョンの更新対象外データを互いに異なるパーティション ( 2 0 2 、 2 0 3 ) に記憶しており、車両で用いられる第 1 の地図データ記憶装置 ( 1 5 0 ) と、

外部と無線通信を行う無線通信機 ( 1 8 0 ) と、

前記無線通信機により、前記更新対象データの更新分である更新対象差分データ ( 3 3 ) を逐次受信して前記第 1 の地図データ記憶装置の前記更新対象データが記憶されているパーティションに記憶する差分データ記憶処理部 ( 1 2 1 ) と、

前記第 1 の地図データ記憶装置に記憶されている前記更新対象データと前記更新対象差分データを重ね合わせる重ね合わせ処理を、前記地図データを使用する所定の処理に際して都度行なう重ね合わせ処理部 ( 1 2 2 ) と、

前記第 1 のバージョンよりも新しい第 2 のバージョンの前記更新対象データ ( 3 1 B ) のイメージファイル ( 3 1 B i ) と、第 2 のバージョンの前記更新対象外データ ( 3 2 B ) のイメージファイル ( 3 2 B i ) を記憶しており、前記車両で用いられる第 2 の地図データ記憶装置 ( 2 0 ) から、前記第 2 のバージョンの更新対象データのイメージファイルを読み出し、前記第 1 の地図データ記憶装置に記憶されている前記第 1 のバージョンの更新対象データおよび前記更新対象差分データを削除するとともに、読み出した前記第 2 のバージョンの更新対象データのイメージファイルを復元して、前記第 1 のバージョンの更新対象データが記憶されていたパーティションに記憶する更新処理部 ( 1 2 3 ) と

を備えることを特徴とする地図データ処理装置 ( 1 0 0 ) 。

【請求項 2】

道路データが少なくとも含まれた更新対象データの第 1 のバージョン ( 3 1 A ) と、更新対象外データの第 1 のバージョン ( 3 2 A ) とを備える地図データ ( 3 0 A ) を記憶しており、前記第 1 のバージョンの更新対象データと前記第 1 のバージョンの更新対象外データを互いに異なるパーティション ( 2 0 2 、 2 0 3 ) に記憶しており、車両で用いられ

る第1の地図データ記憶装置(150)と、

前記第1のバージョンよりも新しい第2のバージョンの前記更新対象データ(31B)のイメージファイル(31Bi)と、第2のバージョンの前記更新対象外データ(32B)のイメージファイル(32Bi)を記憶しており、前記車両で用いられる第2の地図データ記憶装置(20)と、

前記第2の地図データ記憶装置から前記第2のバージョンの更新対象データのイメージファイルを読み出し、その読み出した第2のバージョンの更新対象データのイメージファイルを復元して、前記第1のバージョンの更新対象データが記憶されたパーティションに上書きする更新処理装置(110)と、を備えることを特徴とする地図データ更新システム(1)。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

その目的を達成するための第1発明は、道路データが少なくとも含まれた更新対象データの第1のバージョン(31A)と、更新対象外データの第1のバージョン(32A)とを備える地図データ(30A)を記憶しており、前記第1のバージョンの更新対象データと前記第1のバージョンの更新対象外データを互いに異なるパーティション(202、203)に記憶しており、車両で用いられる第1の地図データ記憶装置(150)と、外部と無線通信を行う無線通信機(180)と、前記無線通信機により、前記更新対象データの更新分である更新対象差分データ(33)を逐次受信して前記第1の地図データ記憶装置の前記更新対象データが記憶されているパーティションに記憶する差分データ記憶処理部(121)と、前記第1の地図データ記憶装置に記憶されている前記更新対象データと前記更新対象差分データを重ね合わせる重ね合わせ処理を、前記地図データを使用する所定の処理に際して都度行なう重ね合わせ処理部(122)と、前記第1のバージョンよりも新しい第2のバージョンの前記更新対象データ(31B)のイメージファイル(31Bi)と、第2のバージョンの前記更新対象外データ(32B)のイメージファイル(32Bi)を記憶しており、前記車両で用いられる第2の地図データ記憶装置(20)から、

前記第 2 のバージョンの更新対象データのイメージファイルを読み出し、前記第 1 の地図データ記憶装置に記憶されている前記第 1 のバージョンの更新対象データおよび前記更新対象差分データを削除するとともに、読み出した前記第 2 のバージョンの更新対象データのイメージファイルを復元して、前記第 1 のバージョンの更新対象データが記憶されていたパーティションに記憶する更新処理部 ( 1 2 3 ) とを備えることを特徴とする地図データ処理装置 ( 1 0 0 ) である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

第 2 発明は、道路データが少なくとも含まれた更新対象データの第 1 のバージョン ( 3 1 A ) と、更新対象外データの第 1 のバージョン ( 3 2 A ) とを備える地図データ ( 3 0 A ) を記憶しており、前記第 1 のバージョンの更新対象データと前記第 1 のバージョンの更新対象外データを互いに異なるパーティション ( 2 0 2 、 2 0 3 ) に記憶しており、車両で用いられる第 1 の地図データ記憶装置 ( 1 5 0 ) と、前記第 1 のバージョンよりも新しい第 2 のバージョンの前記更新対象データ ( 3 1 B ) のイメージファイル ( 3 1 B i ) と、第 2 のバージョンの前記更新対象外データ ( 3 2 B ) のイメージファイル ( 3 2 B i ) を記憶しており、前記車両で用いられる第 2 の地図データ記憶装置 ( 2 0 ) と、前記第 2 の地図データ記憶装置から前記第 2 のバージョンの更新対象データのイメージファイルを読み出し、その読み出した第 2 のバージョンの更新対象データのイメージファイルを復元して、前記第 1 のバージョンの更新対象データが記憶されたパーティションに上書きする更新処理装置 ( 1 1 0 ) と、を備えることを特徴とする地図データ更新システム ( 1 ) である。